

学校評価集計結果に対する改善案

平成26年12月16日 校内評価部会

学校評価アンケート全般を通じて今後課題となった項目について、各分掌での改善案についてまとめる。

●学校運営について

対象	No.	項 目
生徒	26	学校は、ホームページ等による情報発信が充実している。

★HPの情報発信をするために、イベントごとに写真等を担当に渡してもらえるように声掛けをする。(教務部)

保護者	3	船橋古和釜高校には、他校にない特色がある。
-----	---	-----------------------

★アクティブスクールになるので、内容は改善されると思われる。(教務部)

生徒	25	図書室、視聴覚室、進路指導室などは資料や設備が充実し、利用しやすく整理されている。
保護者	6	図書室、視聴覚室、進路指導室などの設備が充実している。
教員	9	図書室、視聴覚室、進路指導室などの資料や設備が充実している。

★進路資料室の進学関係の資料は、就職関係に比べて情報は少ないかもしれない。進学関係の資料の整理・充実、来年度予算に反映させる。視聴覚室の整備は急務。(進路指導部)

★アクティブスクールとしてスタートする上で、視聴覚室の整備は急務である。(総務部)

教員	10	社会的・職業的な自立に向け基盤となる能力や態度が育つキャリア教育実践に努めている。
----	----	---

★総合学習やキャリア教育の内容、実施方法の見直し、グループワークの積極的採用(キャリア部会)

教員	11	道德教育は、学校教育全体を通して、意識的に行われている。
教員	12	教育方針や教育目標に沿って全職員が達成に向けて努力している。

★道德の授業公開については、今後も継続的に検討する。(道德部会)

●学習指導について

対象	No.	項 目
生徒	15	授業は、全体としてわかりやすく、役に立つ内容である。
保護者	9	社会的・職業的な自立に向け、基盤となる能力や態度が育つ授業が行われている。
教員	27	4観点ごとに生徒の取り組みを評価し、授業改善に努めている。

★学校全体で改善に向けて努力しなければならないと思われる。(教務部)

★総合学習やキャリア教育の内容、実施方法の見直し、グループワークの積極的採用(キャリア部会)

●進路指導について

対象	No.	項 目
生徒	21	学校は、生徒指導や進路指導に関する明確な方針等を提示し、保護者と連携した指導をしている。
保護者	17	学校は、生徒・保護者へ適切な進路情報を提供している。
教員	39	進路情報は、適切に生徒・保護者に提供されている。

★前年度までの進路情報は進路のしおりで提供している。保護者面談時に保護者用の資料を配布している。また、今年度の個別具体的情報は、当該学年に遅滞なく伝えている。どんな情報が必要としているのかを調査して、改善を図る。(進路指導部)

生徒	23	学校は、資格取得や進学補習など学力向上のための補習体制を工夫している。
保護者	18	資格取得、進学補習等、学力向上にむけた補習体制が整っている。
教員	38	資格取得、進学補習の情報提供がなされ学力向上の補習体制が整っている。

★資格取得に関しては、呼びかけと指導がなされている。今年度の受験状況、合格実績を各教科から報告してもらい、来年度に向けてアピール・受験しやすい環境を整える。ただし、受験料がかかるものであり、限界がある。
(進路指導部・キャリア部会)

★本校では、AO入試と推薦入試が中心であり、一般受験希望者がいないため進学補習は実施されていないのが現状であるが、2年生の進路志望調査をもとに検討していく。看護系を志望している生徒に対して、早めの準備・対策が必要である。(進路指導部)

生徒	24	学校は、生徒がインターンシップやボランティアなどに参加できる環境を整備している。
保護者	19	生徒の進路選択に役立つインターンシップや進路講演等、生徒の学習環境が整備されている。

★総合学習やキャリア教育の内容、実施方法の見直し(キャリア部会)

★インターンシップの意義を1・2年生に説明する。
インターンシップの受け入れ先の開拓(40社以上が目標)
保護者への周知を図る。
キャリア教育支援教育コーディネーターの活用(キャリア部会)

教員	40	担任は進路情報を把握し、進路指導部と連携して指導に努めている。
----	----	---------------------------------

★3学年では、丁寧に情報交換を行っているが、1・2学年では進路行事の時だけとなっており、やや不足しているかもしれない。どうしても生活指導が中心になってしまうが、進路意識の高い生徒の情報交換は積極的に進めることも考えていく。(進路指導部)

●生徒指導について

対象	No.	項 目
生徒	6	私は、清掃をきちんとして、校内美化に努めている。
保護者	16	校内の美化・清掃活動の徹底がされている。
教員	46	美化活動のいぎを生徒に理解させ、適切な指導が行われている。

★現在「SHR・清掃」となっているが、適切な指導が困難ならば、「清掃・SHR」の変更も検討する。また次年度に向けて「全員清掃」も検討する。学校行事の前日は大掃除の時間の確保の検討。(保健環境部)

生徒	8	私は、部活動や学校行事へ積極的に参加している。
教員	44	部活動や生徒会活動への取り組みが活発に行われている。
教員	45	部活動加入率向上のために積極的な働きかけをしている。

★生徒会活動については、文化祭・体育祭などの主催行事を中心に各委員会活動を活発化させ、生徒が主体的に活動できるようにする。

★部活動については、新入生全員を対象にした、部活動体験期間など具体的な方策を取り入れる。
(生徒指導部)

生徒	29	生徒相談員が周知され、生徒が相談しやすい雰囲気がる。
生徒	30	いじめやセクハラアンケート等が適切に実施され、いじめ・セクハラ防止に努められている。
保護者	20	生徒にとって相談しやすく、親身に対応する相談窓口が整備されている。
保護者	21	学校に対して安心して相談できる雰囲気である。

★いじめ・セクハラアンケートの事後指導の実施。教育相談室の昼休み開室など検討。(生徒指導部)

生徒	32	遅刻指導や服装頭髪マナー指導など、学校の指導には納得ができる。
教員	36	学年ごとの目標をもとに、遅刻欠席数の改善のための取り組みが行われている。

★遅刻指導については、遅刻時の対応及び事後指導方法の反省・再検討する。

★マナー指導については、一斉指導に加え、日常的な指導が出来るように工夫する。
(生徒指導部)

●地域との連携

対象	No.	項 目
教員	51	教職員は保護者会活動の意義を理解し、協力している。
教員	52	保護者との連携を重視し、生徒の健全育成のため家庭との連携を密にしている。
教員	53	教育目標等は保護者や地域の人々に説明されている。
教員	54	入学時のオリエンテーションは、高校生活への適応に向け適切に実施されている。

★全職員から高い評価を得られた。今後も連携を密にしていくことが重要だと思われる。(総務部)

教員	55	中学校や地域等へ学校の情報がわかりやすく伝えられている。
教員	56	中学校への適切な情報提供により、教育方針に合致した志願者の確保に努めている。
教員	57	生徒指導における、中学校との情報交換(進路変更前に)ができている。

★概ね高い評価を得られた。「中学校向け出身中学校別メッセージ」や、「ホームページの充実」が良かったと思われる。ただ、生徒に関する情報について中学校側と十分に情報交換が行われていないという結果がでた。この部分については、学校全体で今後検討しなければならない事項と考える。(総務部)

保護者	27	学校は、保護者や地域へ積極的に情報提供を行っている。
保護者	28	地域との連携を密にした、開かれた学校づくりへの取り組みがなされている。
保護者	29	地域・保護者から魅力ある学校として信頼を得ている。
教員	58	地域社会との連携を重視し、ホームページ等による情報公開が積極的に行われている。
教員	59	地元自治会、社会協議会、公共施設との連携が図られている。

★ホームページの更新回数や内容の充実によって、高い評価を得られていると思われる。今後も積極的に学校行事や部活動状況などタイムリーな情報提供を続けていくことが重要だと考える。「地域連携アクティブスクール」に向けて、さらに自治会や、福祉協議会等との連携がより重要となると考える。次年度に向けて学校行事のPR、開かれた学校づくり委員会・ミニ集会の有効的な活用など、継続して検討していくことが重要だと思われる。(総務部)

●その他(全般を通して)

★27年度入学生からの制服変更に伴う、服装規定の見直し(生徒指導部)

★アクティブスクールで実施する就労体験と、従来実施してきたインターンシップ及び企業訪問の仕事分担・体制づくりの見直し(進路指導部)